



第2回 全国高校生プレゼン甲子園 実施要項

- 1 主催 全国高校生プレゼン甲子園実行委員会（事務局 福井県教育委員会）
2 共催 一般社団法人プレゼンテーション協会
3 後援 福井新聞社

※後援については令和4年3月31日現在。協賛・後援については公式HPにて更新

- 4 目的 テーマについて深く考察し、自分の考えや念^{おも}いを「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、プレゼンテーションスキルの向上を図る。

- 5 テーマ 「地域社会の持続可能性への提言」
予選・決勝共通：地域社会の持続可能性を実現するには

過疎化・高齢化、地域コミュニティの衰退、中心市街地の空洞化、地場産業の衰退、大都市圏一極集中による地方都市の衰退など地域社会は様々な課題に直面しています。そこで、「持続可能な地域社会」とは何か（定義）を考えたいうえで、現状はどうなっているのか、その現状に対しておこすアクションについて提案してください。

- 6 応募条件
- ・高校生1チーム3名まで（個人でも可）
※令和4年度に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）、特別支援学校高等部、高等専門学校（3年生まで）に在籍していること
 - ・同一学校でチームを組む
 - ・一人一回の応募とする

- 7 応募方法
- ・公式サイトの応募フォームから予選のプレゼン動画を提出する
応募の流れ ①プレゼン資料作成
テーマを研究し、プレゼンの構成を考える
※プレゼンに使うツールは自由。ただし、プレゼン動画撮影後の動画編集は不可（例：文字テロップの挿入、効果音の追加など）
②動画を撮影（予選3分）
撮影はスマホも可
発表者が画面に見えていること（一時的に見えないのは可）
※プレゼン動画は、通しで撮影して編集はしないこと
③応募フォームに必要事項を記入し、動画をアップする
データが大きい場合「ギガファイル便」などを利用

8 日程

令和4年

- 6月1日（水）～6月10日（金）17時 申し込み・予選動画提出期間
[6月13（月）～7月15日（金）予選審査期間]
7月22日（金）予選通過チーム発表（公式HP掲載および通過者に連絡）
8月20日（土）決勝大会（福井駅前ハピリンホールにて対面開催）

- 9 予選審査
- ・審査員が応募作品を視聴し審査（非公開）
 - ・結果をとりまとめ、予選通過の10チームを選出
 - ・公式サイトで結果を発表
- 10 決勝大会
- ・予選通過チームはテーマに沿った5分間のプレゼンを制作
 - ・開催場所 ハピリンホール（福井市にぎわい交流施設ハピリン内）
福井県福井市中央1丁目
 - ・順番にプレゼンを行い、審査員からの質疑応答後、審査委員会にて順位を決定
 - ・決勝大会の様子はリアルタイム配信および後日録画配信（YouTube）
主催者挨拶、審査員紹介、プレゼン発表・質疑応答、審査、表彰式等
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催方法等を変更する場合あり
- 11 審査委員
- 予選（8名）
- 前田鎌利氏（審査委員長）
 - 福井県教育庁より1名
 - プレゼンテーション協会より6名
- 決勝（6名）
- 前田鎌利氏（審査委員長）
 - および実行委員5名
- 12 審査基準
- (1)テーマに対する考察、根拠、論理性、独創性
 - (2)メッセージの伝わりやすさ、構成
 - (3)印象的、効果的なスライド等のビジュアル
 - (4)話し方、訴求力、説得力
 - (5)質疑応答 ※決勝大会のみ
- 13 表 彰
- | | | |
|------|----|------------------|
| 最優秀賞 | 1組 | 副賞：福井県特産品一人5万円相当 |
| 優秀賞 | 3組 | 副賞：福井県特産品一人1万円相当 |
| 特別賞 | 1組 | 副賞：福井県特産品一人5千円相当 |
| 奨励賞 | 5組 | 副賞：福井県特産品一人3千円相当 |
- 参加賞：福井県立恐竜博物館年間パスポート（決勝出場者全員）
※福井県特産品：越前ガニ、若狭カレイ、甘えび、米、若狭牛などから各自で選択